第53号　NPO法人リーベル　　令和5年 6月 吉日

リーベル通信

発行責任者:NPO法人 リーベル
電 話:0943-22-2610
FAX:0943-22-2664
住 所:八女市本町17-2
E-mail:liber-yame@marble.ocn.ne.jp
URL:http://liber-yame.net

～ピアサポート活動のご紹介～

地域活動支援センターかたろいでは、当事者の方々が主体的に活動していただけるよう、ピアサポーターの配置に取り組み始めています。第一弾として、視覚障がい当事者の大津さんに、個別相談への同席、福祉実習生への体験の伝達等、協力を頂いています。先日は八女市立図書館にて、アクセシブルライブラリー（視覚障がい者専用電子図書）導入に向けた協議に参加してきました。写真はその時の様子です。実際の使用感について率直な意見から改善点の提案まで頂きました。視覚障がい者専用電子図書館サービスは、スマートフォン等の音声読み上げ機能を使って電子図書が楽しめる魅力的なサービスです。関心のある方はぜひ八女市立図書館にお問い合わせください。

当事者の方が支援者になる、研修講師になることで支援効果、研修効果が上がるという根拠が積み重ねられており、どの領域でもピアサポートの必要性が高まってきています。かたろいでは、今後もオリジナルな経験をされている当事者の方々に協力を頂きながら活動を広げていきたいと思っています。PR のチラシをリーベルホームページに掲載していますので、ご確認頂き、ピアサポーターの力が必要！と思われた際は、ぜひかたろいまでご連絡下さい。

リーベル おしゃべり箱

～障がい児をもつ親のサロン～

障がいを持つ児童さんのご家族が、お互いに悩みを分かち合い、共有し、連携することで互いに支えあう事を目的としています。参加は自由です。

時間：10：00～12：00
場所：地域活動支援センター　かたろい
日程：6/12（月）・7/10（月）・9/11（月）
　　10/2（月）・11/13（月）・12/11（月）
　　1/15（月）・2/19（月）・3/4（月）
※10月・3月は岸先生をお呼びしての座談会予定
講師：一般社団法人　わ・Wa・わ
　　理事長　岸　良至氏（作業療法士）

～堀川バスに「nimoca」導入～

3月25日から交通系IC カード「nimoca」が堀川バスで使用可能になりました。

当事者・経験者の声に触れてみませんか？

ひきこもり VOICE STATION　検索

令和4年度 八女市障がい者虐待防止・権利擁護研修会

「大丈夫ですか？その関わり方…。まさか、虐待になってませんか？」

福祉事業所や相談支援事業所等、障がい福祉に関わる私たち一人一人が、日頃の支援の在り方を振り返り、虐待や不適切な支援への認識を再確認するとともに、障がい児者への権利擁護の意識を高めることを目的とし、2月24日(金)に研修会を開催しました。

今回は佐賀でご活躍されている芹田洋志氏を講師に迎え「誰もが自分らしく暮らせる社会」をテーマに講演いただきました。芹田氏は1973年生まれで「NPO法人しょうがい生活支援の会すみか」の代表をされており、その他「特定非営利活動法人ふくおか NPO センター理事」や「鳥栖市手をつなぐ育成会理事」をされています。当日は曇り空の中、鳥栖駅から羽犬塚駅まで電車で来られる予定でしたが突然の停電での不通。急遽鳥栖駅まで車で迎えに伺うというハプニングもありましたが、無事到着されました。

講演では「障害ってなんだろう！？～ソモソモのハナシ～」から「虐待の防止」を「支援の充実」へ「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「合理的配慮を考える（発達障害の子ども達の障壁を視覚化したら）」また事例を通じての講演でユーモアを交えて話され、とても有意義な時間となりました。

46事業所から 46名の出席があり、事業所間の交流も図られてアンケートでは「虐待に焦点をあてるのではなく、その前の背景を見ることも大切なことだと思った。毎日同じ人はいないが小さな変化に目を向け、声をかけられるようにしたい。」「障がい者は特別な人ではなく普通の人であり、本人たちは特別扱いを望んでいない。普通が難しい。」等の声がありました。

今後もこのような研修の機会を設けて行きたいと考えています。

～障がい者が虐待を受けたり、受けている所を目撃した際はお電話ください～

八女市障がい者虐待通報ホットライン ☎090-2580-0294（24時間・365日の対応）

編集後記

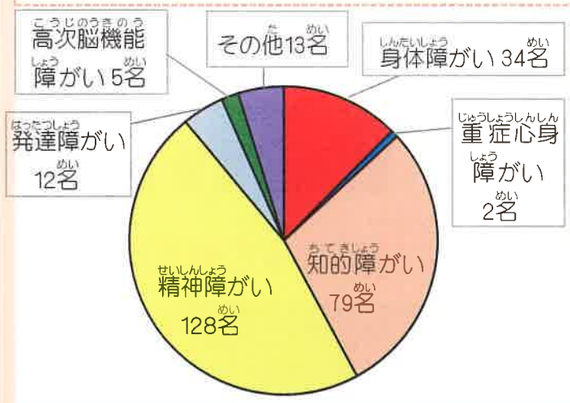
コロナが 5類に移行し、マスクを外す人が少しずつ増えてきました。マスク顔が当たり前だったので、マスクを外すことに少し抵抗を感じる方も多いのではないでしょうか？ 私もその一人ですが、やはり話しているときに顔全体の表情が見えるのは良いですね。　（T）

令和4年度八女市障がい者基幹相談支援センター活動報告

【相談支援を利用されている障がい者等の実人数と内訳】

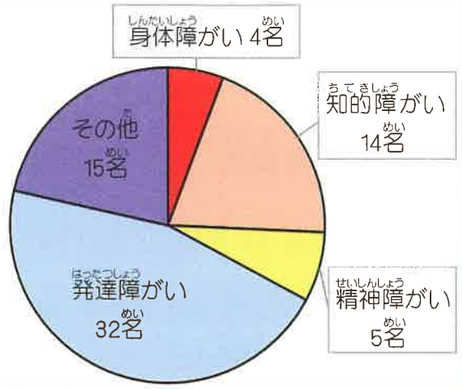
【障がい者】

実人数：250名(障がいの重複含む)



【障がい児】

実人数：66名(障がいの重複含む)



＜相談支援＞

実人数は前年度より8名増で、316名。新規相談者は、77名(内、児童23名)で前年度より10名減となりました。障害種別の割合は例年通りで、精神障害の割合が一番多くなっています。

＜相談内容について＞

・「福祉サービスの利用に関する支援」が1番多く、大人では全体の40%、児童では全体の54%でした。次に、大人では「健康・医療に関する支援」「不安解消に関する支援」「家計・経済に関する支援」と、相談が一番多い精神障害者の困りごとが反映されていると感じました。また、ひきこもり傾向にある精神症状がみられるケースなど、他機関と連携し見守りを継続しています。他、医療機関からの退院時の相談や、高齢障がい者の相談など、多機関で連携する機会が多くなっています。

・児童については、「保育・教育に関する支援」が2番目に多く、児童が在籍する保育所や学校との連携が重要になってきています。また、医療機関で診断を受けるための受診のほかに、心の安定が図れない児童の定期受診も増えつつあります。発達障害やその疑い(未診断)の児童数も増加傾向にあり、特に小学校高学年以上からの福祉サービスの利用になると、マッチングする事業所が少ない状況があります。

・新型コロナウイルス感染症について、事業所の感染情報の把握や発熱時の受診、食の確保などその都度当事者や関係機関と連絡を取り合い対応を行ってきました。単身者の受診の送迎については行政とも多くの協議を重ねました。また、相談員自身が感染しない、させないことを念頭に置き、日々の感染予防に努めながら支援をしてきました。

・他県から転入されるケースについては、転入前から本人やご家族、関係機関から相談があり、転入後スムーズに福祉サービスや生活などが始められるようになりました。どの地域に住んでいても相談支援の機能が充実してきたと実感しています。

リーベルネットワーク会議

リーベルネットワーク会議を3月20日(月)に開催しました。これは、八女市にある障がい者福祉に係る事業所や関係機関が一堂に会して行なうネットワーク会議であり、八女市障がい者等自立支援協議会の下部に位置する会議です。

今回は、報告事項として、まず八女市の自立支援協議会の組織について再度説明を行い、この3年間活動してきた課題解決型部会である「アウトリーチ部会」の終結について報告、それを引き継ぐ形で今年度活動していく「アウトリーチサポートチーム」について説明をさせていただきました。そして、以前活動していましたが、この3年間休止していた「こども分科会」を再び「こども部会」とし、活動再開に至った経緯について説明させていただきました。

その後の協議事項については、新しく立ち上げる予定である「権利擁護部会」のための準備委員会設置の提案を行い、それに対しての意見を参加された皆さまから頂きながら「今後も協力いただきたい。」とお願いしました。

その他、令和5年度のリーベルネットワーク会議としての活動計画(案)を示させていただきました。

ペアレント・トレーニング入門講座

令和元年から始めたペアレント・トレーニングも今年度で5回目になります。発達障害を持つ子どもの保護者がかかわり方を学び、親も子も楽しく生活が出来るようにするプログラムです。

今までに保護者19名、ティーチャーズ・トレーニングとして放課後等デイ事業所等3事業所46名の方に受講いただきました。もっと多くの方に知っていただきたく、今回3年ぶりに令和5年3月に入門講座を開催しました。講師は、りんどう学園の施設長北原様にお話をいただきました。参加者は、保護者6名、他、保育園、放課後等デイ事業所、訪問看護ステーション等9名でした。子どもの行動を3つにわけること、100%ではなく 25%でほめること、行動をほめることなど、具体的なお話をいただきました。また、この親子関係が、夫婦であったり職場でも活かせることを学びました。

ペアレント・トレーニングは、9回シリーズでロールプレイや宿題など、積み重ねて理解を深めていくものです。実際に講座を受けることが1番ですが、時々振り返る意味では入門講座は大切な意味があると感じました。

今年度もペアレント・トレーニング、放課後等デイ事業所及び保育所でもティーチャーズ・トレーニングを開催予定です。

☆令和5年度の障害年金額が前年度に比べて 2.2%引き上げになりました☆

障害基礎年金1級：993,750円(月額:82,812円)

2級：795,000円(月額:66,250円)

～八女市の福祉窓口担当者の紹介～

八女本庁

黒木支所

上陽支所

星野支所

矢部支所

立花支所

～NPO法人リーベルの紹介～

八女市障がい者基幹相談支援センター

牛嶋・堤・大賀・金納
山村・大塚センター長・井手口

相談支援事業所　リーベル

西村・矢野・鶴田
大塚センター長

八女地区障害者地域生活支援拠点センター　すいれん

西村・大池（上横山福祉会所属）

出産・育児でお休みを頂いていましたが、5月1日に復帰しました。みなさまのお力になれるように頑張りますので、よろしくお願いします。

堤

地域活動支援センター　かたろい

市山・大坪・鶴田・井手口

5月よりリーベルの一員になりました。頼もしい先輩たちのもと、日々学びながら自分自身成長できるよう頑張りたいと思います。

大賀